今浦老人クラブが記念誌を発行

今浦老人クラブ（小林千代太郎会長）では、創立50周年を記念して「ふるさと今浦～生い立ちと体験記～」を発行しました。老人クラブ会員のほか、町内会の協力も得て、今浦の旧跡・名勝や伝統文化、古文書に残る災害の記録のほか、地域のかたの体験記などがまとめられています。

会長は、「今浦は小さい集落だが、古代から人々が暮らしており、平安時代には神宮の荘園として都人が往来するなど、この地は知られていた。記念誌が地域のかたの郷土愛を育むきっかけになればうれしい」と語ってくれました。

3世代海女さん、キャンペーンガール再任

早苗さん　寿美子さん　静香さん

市では3月28日、3世代海女として活躍中の中川さん一家（相差町）を市キャンペーンガールとして再任用しました。

中川さん一家は平成24年9月に市キャンペーンガールに就任して以来、テレビや雑誌などのメディアに数多く出演し、市の宣伝ポスター「真珠の耳飾りの海女」（モデル・中川静香さん）も話題となるなど、市の観光と知名度アップに貢献してくれました。再任用の任期は2年で、引き続き市の情報発信の一翼を担っていただきます。

新一年生の交通安全を願って

三重県トラック協会南勢支部の南秀雄支部長は4月3日、市教育委員会を訪問し、交通安全啓発下敷き150枚を寄贈しました。

同協会からの下敷きの寄贈には、子どもたちが交通規則について興味を持ち、交通事故に遭遇しないようにとの願いが込められており、平成23年度から毎年行われています。

今年度は市内の小学校9校・150人の新一年生に、さまざまな車両のイラストや交通標識が入った下敷きが贈られました。

小説「潮騒」の発表から60周年を記念して

志摩市在住の書道家・西尾孤山さんより、小説家・三島由紀夫の代表作「潮騒」の発表60周年を記念した書道作品が市に寄贈されました。

この書道作品には、西尾さんの「神島のかたはもちろん、観光で訪れる人たちにも、小説家・三島由紀夫の『潮騒』を再認識していただく機会になれば」との思いが込められています。

この作品は現在、神島開発総合センター1階に飾られています。